

JIS Q 55001 (ISO 55001)

アセットマネジメントシステム

アセットマネジメントシステムの必要性

近年、先進国においては社会インフラ(アセット)の老朽化とその維持管理が大きな課題となっています。我が国では、道路、橋梁、トンネル、空港、港湾、上下水道施設等に代表される社会インフラは、1970年代の高度経済成長期以降に急速に整備されました。そのため、建設後50年を経て老朽化する社会インフラの割合は2020年以降に急速に増えることは確実となっています。この問題を解決するためにも、限られた予算の中で効果的なアセットマネジメントを遂行する能力が求められています。

ISO 55001は、社会インフラ(アセット)を、コスト、リスク、パフォーマンスのバランスを考慮し、そのライフサイクル期間で最大の資産価値を向上させることを目的として制定されたアセットマネジメントの国際規格です。

社会インフラ(アセット)を保有している組織(地方公共団体等)や、社会インフラの維持管理業務やコンサルティング業務を受託している組織(民間企業等)などが対象となり、組織的かつ効率的な管理を進めるためのツールとして注目されています。

アセットの例

道路／橋梁／港湾／空港／水道施設／下水処理場／公園／学校／病院／プラント

期待される効果

- 社会インフラ(アセット)管理業務の改善、効率化、高度化
- 社会インフラ(アセット)管理に関する第三者説明能力の強化とCSRの向上
- 包括管理業務の受託やPFI事業等への参画
- 海外へのインフラ輸出の促進